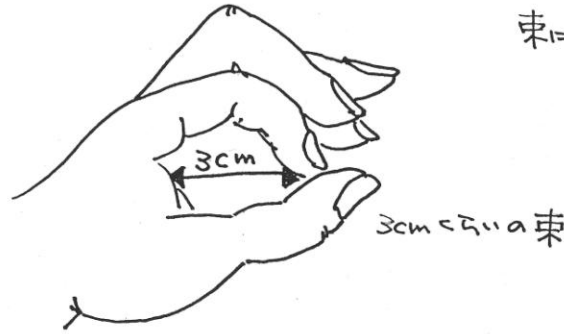
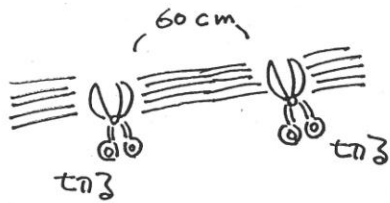


さし表・流しびじの作り方

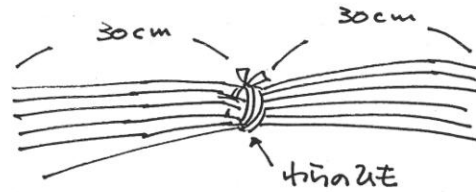
1.



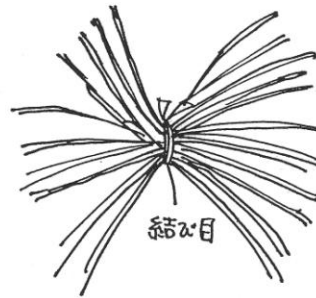
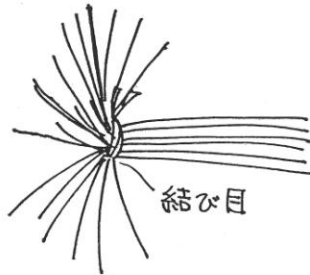
稲わらを適当な長さに切りとります。

束にして 真中をわらの皮で結ぶ。

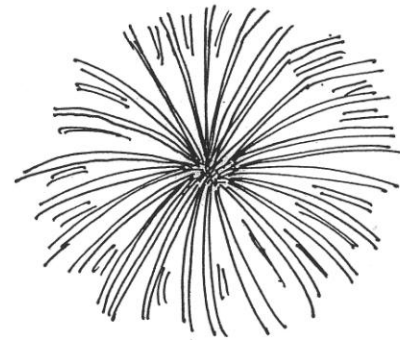
2.



3.

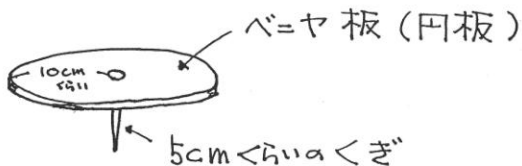


放射線状に両方ともをひろげる。

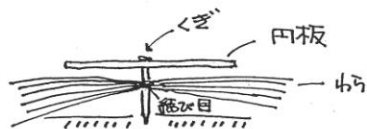
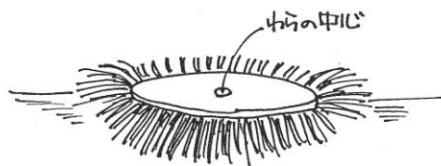


円の中心に結び目

4.

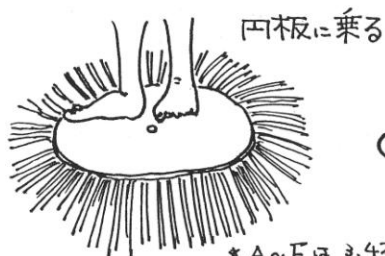


5.

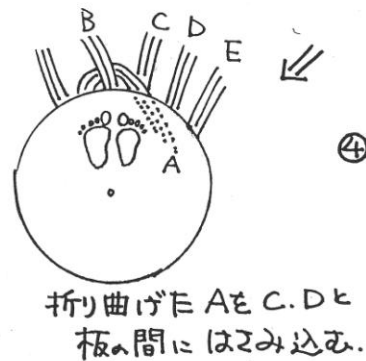
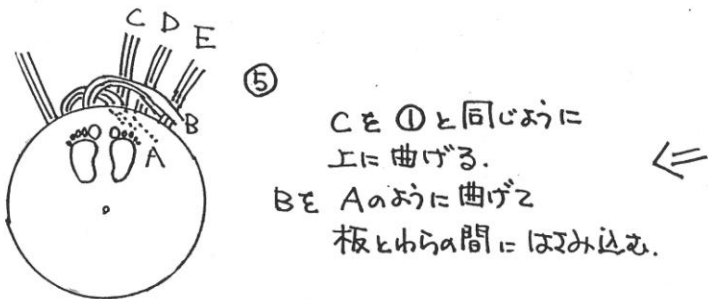
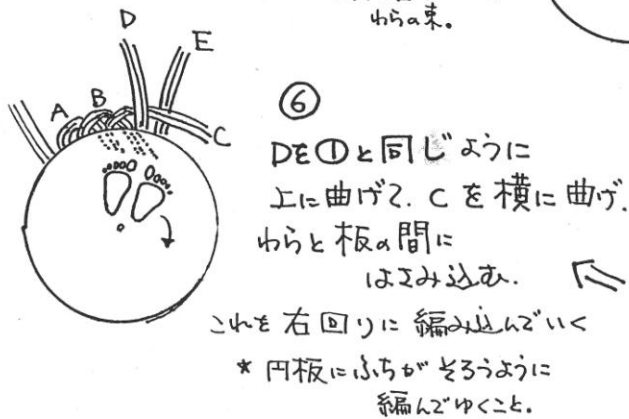
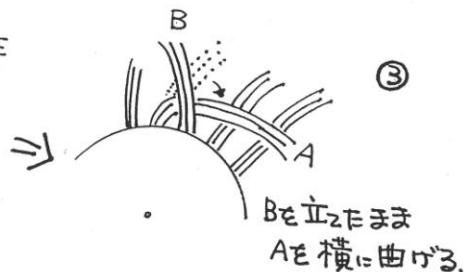
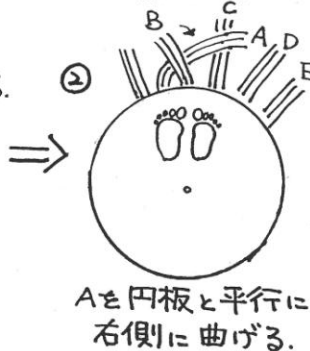
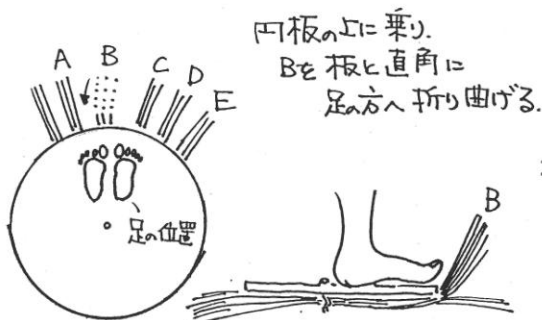


古い畳  
巻込スチロール 等に高さとし固定する。

6.



\* A~Eは3.4本の  
わらの束。



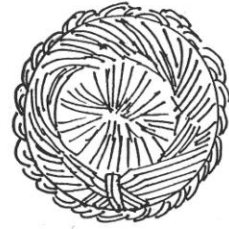


最後の部分を別の  
わらを使ってほどけ  
ように結ぶ。



出ているわらを中心に  
向かってまき込み。  
それでもはみ出さぬなら  
はみどりをとる。

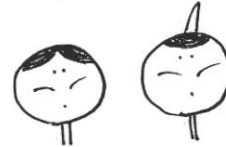
わらのみもど結ぶ



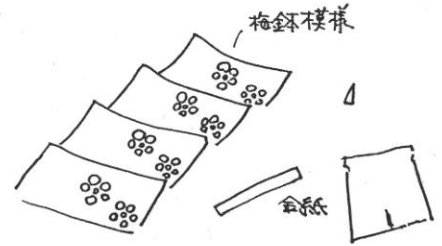
完成。



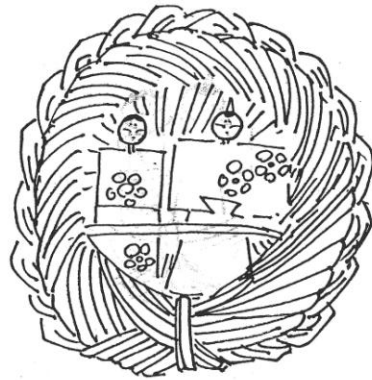
粘土で雛の頭を作り  
仕上げに胡粉を塗ります。



目・髪は墨で、口は朱を入れます。



衣裳は白、梅鉢模様を  
散らした赤い紙とほかま。  
帯は金紙で作ります。



一対の雛をこの表に入れ。  
青竹をはり込み完成です。